

文を尊び武を昌んにする校風!

●浦高公開授業と浦高施設見学ツアー、その1!

今日10月24日は春日部地区浦高会の秋の小旅行「浦高公開授業と浦高施設見学ツアー」で、会員15名が参加しました。

この企画は、春の小旅行「浦高百年の森と鉢形城の旅」に参加された方から「そういえば浦高を卒業して50年が経つけれども、今学校はどんな様子なのだろうか」という素朴なひと言から始まりました。早速、浦和高校校長の杉山剛士先生にご連絡させていただいたところ、「浦高では、年に数回『土曜公開授業』という催しがあるので、その時にお越しただければ、浦高の教育の姿、生徒たちの日常をつぶさに見ていただくことができます。」というメールをいただき、ホームページを検索すると5月23日～11月7日までの間に6回の機会がありました。そして浦高同窓会では、浦高創立120周年記念事業として『麗和会館資料展示室のリニューアル』を行っていたこともあり本日のツアーとなりました。

9時30分、麗和会館に春日部地区浦高会からの参加者が集合し、校舎3階の視聴覚室に移動しました。



〔視聴覚室には次々と中学生達が〕



〔鈴木教頭から浦高教育の説明〕



〔校長室で全国高校クイズ選手権優勝旗と一緒に写真を撮る〕

視聴覚室は165名程度の定員ですが、9時50分には浦高受験を目指す中学生たちと保護者の皆さんで一杯になりました。教頭の鈴木先生から、公開授業と浦高の教育理念などが説明されました。

「尚文昌武」「世界のどこかを支える人材を育てる」「少なくとも三兎を追え」「無理難題に挑戦」は良く聞くフレーズですが、合格発表後の3月中旬に例えば数1教科書の半分が宿題に出されるといふ凄いハードルが待っているようです。さて、中学生にはどう聞こえたかな?

10時25分、説明を聞き終えて校長室にご挨拶にお伺いすると、杉山校長先生から最近届いたという「全国高校クイズ選手権大会優勝旗」をご紹介いただきました。お言葉に甘えて会長・副会長で記念写真も…。

最初の授業は、私の同級生で同窓会理事を務める井口巖さんの生物を見学させていただきました。内容は…?

続いて、麗和編集委員を務められている先生たちの教室へ。随分と丁寧に教えていらっしゃるなあと感じました。私たちの時代の先生たちは授業で教えるというよりも、自分たちで考えなさい、自由に学びなさいという雰囲気だったような気がします。予備校に行かなくても授業と自己学習で十分という意味が分かる気がしました。

今朝の新聞に「2016年度公立高校募集人員」が掲載され、浦高は40名増えて400人とのこと、それでも競争率は変わらないかも知れませんね。



〔授業風景、同期の井口先生の生物〕



〔中庭の保存された旧校舎玄関〕



〔校庭南側の初代銀杏の木〕



〔現在の校舎、A棟入口〕



〔昔と変わらぬ正門から眺める銀杏〕